



2019年3月11日
伊丹市
株式会社ミマモルメ
ヤマト運輸株式会社

伊丹市・ミマモルメ・ヤマト運輸が連携し、新たな見守りサービスの実証実験を開始
～「まちなかミマモルメ」と、市バス・市の公用車や集配車両との連携で
より安全・安心な見守りネットワークを構築します～

伊丹市（市長：藤原 保幸）、阪急阪神ホールディングス傘下の株式会社ミマモルメ（代表者：小坂 光彦、以下「ミマモルメ」）とヤマトホールディングス傘下のヤマト運輸株式会社（代表取締役社長：長尾 裕、以下「ヤマト運輸」）は、2019年3月18日より、子どもや高齢者の居場所をご家族にお知らせするサービス「まちなかミマモルメ」と、市バス・市の公用車やヤマト運輸の集配車両など約 50 台を連携させた新たな見守りサービスの実証実験を開始しますので、お知らせします。

記

1. 背景

兵庫県伊丹市は、子どもや高齢者に関わる犯罪の抑止や事件・事故の早期解決を目的に、「まちなかミマモルメ」を2016年3月より実施しています。通学路や学校の校門など市内1,000カ所に防犯カメラと一体となった受信器を設置し、ミマモルメの発信器を持った子どもや高齢者が付近を通過する際に、位置情報や通過時間などの居場所情報をご家族に配信しています。

本日、伊丹市、ミマモルメとヤマト運輸は、より安全・安心な見守りネットワークを構築することを目的に、「地域における見守り協定」を締結しました。3月18日より、市バス・市の公用車3台と、市内を走るヤマト運輸の集配車両 約50台および宅急便センター4拠点に電波受信器の機能を持つスマートフォンを搭載し、走行しながら受信する居場所情報を「まちなかミマモルメ」と連携することで、よりきめ細かい見守り情報を配信する新たな見守りサービスの実証実験を開始いたします。

2. 実証実験期間

2019年3月18日（月）～2019年5月31日（金）

3. 取り組みの内容

伊丹市内を走行する、市バス・市の公用車やヤマト運輸の集配車両および宅急便センターに、移動受信器アプリ※をインストールしたスマートフォンを搭載します。

発信器を持った子どもや高齢者が車両や拠点の付近を通過した際に、発信器からの情報をスマートフォンが受信し、ご家族の方に「まちなかミマモルメ」アプリを通じてお知らせします。

※今回の取り組みにともない、車両が移動しながら発信器からの情報をスムーズに受信できるよう、新たに移動受信器アプリを開発いたしました。

【今回の取り組みのイメージ図】



※ 今回の実証実験の取り組み内容は、「まちなかミマメルメ」サービスにご登録いただいているすべての方が、新たな設定を行う必要なくご利用いただけます。また、追加料金も発生いたしません。なお、「まちなかミマメルメ」の詳細につきましては、下記の URL をご参照ください。
「まちなかミマメルメ」ホームページ <https://www.hanshin-anshin.jp/machinaka/>

4. 「地域における見守り協定」締結式について

本日 2019 年 3 月 11 日 14 時 00 分から、伊丹市役所にて協定締結式を行いました。



左から、
伊丹市マスコットキャラクター「たみまる」、
ミマメルメ 代表取締役社長：小坂 光彦
伊丹市長：藤原 保幸
ヤマト運輸 阪神主管支店長：小川 範行
シロネコ・クロネコ

5. 今後について

今回の実証実験で得られるお客さまの声や、運用上の課題などの検証を行い、さらなる安全・安心な見守りネットワークの構築を進めてまいります。

以上

別紙 (参考)「まちなかミマモルメ」の概要

株式会社ミマモルメが、登下校メール（導入校：約 1,200 校、約 24 万人が利用）のノウハウを活かし、これまでの校門・塾・高齢者施設・マンションだけでなく、「まちなか」に利用シーンを展開させたものが「まちなかミマモルメ」です。これまでのメールのみのお知らせから、新たに、アプリによる検知箇所の通過履歴の閲覧やプッシュ通知が加わり、お子さまや高齢者の居場所を把握することができます。

BLE (Bluetooth Low Energy) を用いておりますので、スマホでも読取り可能で、各自治体でのボランティア活動にもご利用いただけます。

また、その利用の簡便性が故に存在する BLE のセキュリティの脆弱性に対して、「みまもり事業者」としての誇りにかけて、独自セキュリティを組み込んでおりますので、安心してご利用いただけるのが「まちなかミマモルメ」の最大の特長です。

2016年3月に伊丹市、同年4月に長岡京市、2017年9月に大東市で導入を果たし、多数のユーザーの方々からお喜びの声を頂戴しております。

● 発信器

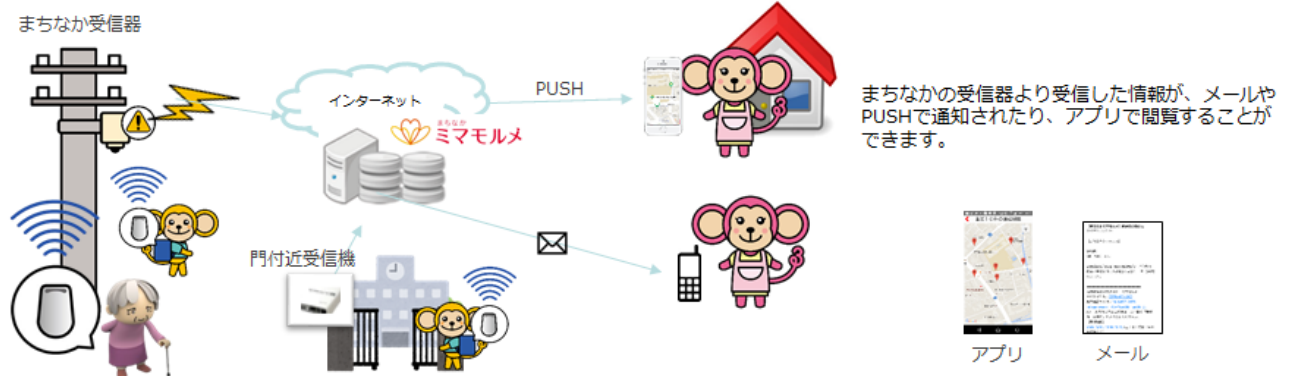


● 受信器



小型・軽量
独自セキュリティ組み込み

発信器を持った高齢者や子どもがまちなかや学校の門に設置されたビーコン受信器付近を通過することにより、メール通知またはPUSH通知にてお知らせします。



万が一ご家族が迷子になられた場合は、迷子の方の情報をボランティアへ送信し、捜索に協力のお願いができます。

一般ボランティア

協力要請があった場合受信器として捜索に参加します。アプリをダウンロードすることで一般ボランティアになることができます。

登録ボランティア

事前に自治体等への登録が必要になります。協力要請があった場合受信器として捜索に参加します。迷子の方の情報を受け取ることができ、迷子の方の発信器を受信した場合は、協力要請者へ電話でお知らせすることができます。(*1) 登録ボランティアを利用する場合は、ID//パスワードが必要になります。(*1) 協力要請者が電話番号を公開した場合

